



2022年2月1日

各 位

会 社 名 株式会社山田債権回収管理総合事務所  
代表者名 代表取締役社長 山田 晃久  
(コード番号 4351)  
問合せ先 取締役管理本部長 田中 光行  
電話番号 045-325-3933

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年2月9日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績予想の修正について

2021年12月期通期連結業績予想数値の修正（2021年1月1日～2021年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 2,821	百万円 280	百万円 272	百万円 173	円 銭 40.71
今回修正予想 (B)	2,188	99	98	162	38.04
増減額 (B-A)	△633	△181	△174	△11	
増減率 (%)	△22.4%	△64.6%	△64.0%	△6.4%	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期)	2,095	△200	△178	△189	△44.54

#### 2. 修正の理由

売上高において、サービス事業では既存の購入済債権からの回収等が順調に進み、若干の未達ながらもほぼ計画通りとなる見込みです。派遣事業では派遣先の業況が比較的順調に推移したことから計画をやや上回る見込みです。不動産ソリューション事業は借地権負担付土地（底地）関連業務に注力しましたが、当期中の仕入れが不調に終わったことから、計画比大幅な未達になる見込みです。しかしながら翌期にずれ込んだ大型の底地仕入案件が成約済である等、今後とも有望な業務分野であり引き続き注力していく予定です。

この結果、全体としては不動産ソリューション事業の未達分が影響して、売上高は2,821百万円から2,188百万円と633百万円減少する見込みです。

上記売上高の減少にともない、営業利益では181百万円、経常利益では174百万円、親会社株主に帰属する当期純利益では11百万円、それぞれ前回予想を下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益の減少幅が小さいのは、2019年12月期に出資した投資事業有限責任組合スキームによる「中堅・中小企業向け事業承継ファンド」が順調に終了したことによるものです。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値とは異なる可能性があります。

以 上